

機関名	米子市
任命権者	米子市長
評価年度	令和3年度
目標に対する達成度	<p>①採用に関する目標 当該年6月1日時点の法定雇用率以上（令和3年は2.6%） （実雇用率）2.85%</p> <p>②定着に関する目標 離職者を極力生じさせない （令和2年度採用者7名に対し、定着者数5名）</p>
取組内容の実施状況	<p>障害者の活躍を推進する体制整備 （組織面） ○職員課の職員を障害者職業生活相談員として選任している。 ○組織内の人的支援体制を整備し、障がい者にかかる支援機関との連携体制を構築している。</p> <p>（人材面） ○鳥取労働局による「障害者職業生活相談員資格認定講習（令和3年11月開催）」に障害者職業生活相談員選任候補者が受講した。 ○鳥取労働局による「精神・発達障害者しごとサポーター養成講座（令和3年7月開催）」に障がいのある職員が配属されている部署の職員などが受講を予定していたが、新型コロナウイルス感染症のため中止となった。</p> <p>障害者の活躍の基本となる職務の選定・創出 ○定期的に個別面談を行い、障がいのある職員と業務の適切なマッチングの状況について点検を行った。</p> <p>障害者の活躍を推進するための環境整備・人事管理 （職務環境） ○定期的な個別面談により、必要な配慮等を把握した。</p> <p>（募集・採用） ○特別支援学校の生徒や就労移行支援事業所からの紹介者を対象として職場実習を実施した。 ○障がい特性への配慮を行い、障がい者の積極的な採用に努めた。</p> <p>（働き方） ○利用可能な各種休暇制度等については、庁内掲示板等を通じて周知を図り、利用促進に努めている。</p> <p>（その他の人事管理） ○必要に応じて、個別面談の実施や就労パスポートの作成を行い、障がい特性等について情報共有し、適切な支援や配慮を行った。</p> <p>その他 ○国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律に基づく障がい者就労施設等への発注等を通じて、地域における障がい者の活躍の場の拡大を推進しているところであり、令和3年度においては、物品等の調達実績額が目標の25,240千円以上を達成した。 ○職員が使用する個人名刺を一定の条件のもと公費負担することについて、障がい者就労施設等へ優先調達を行う制度を構築した。</p>